

議事要旨

1 会議名	第2回 吹田市資源リサイクルセンター指定管理者候補者選定委員会
2 議題	吹田市資源リサイクルセンター指定管理者候補者の選定
3 開催日時	令和3年9月28日(火) 午後3時～午後4時30分
4 開催場所	吹田市資源リサイクルセンター5階 講義室2
5 出席者氏名	<p>(1) 選定委員 委員長 良永 康平 ・ 副委員長 宮崎 ひろ志 委員 原田 禎夫 ・ 委員 小林 裕五 委員 小山 奈邦</p> <p>(2) 市職員 [環境部 (環境政策室)] 環境部長 中嶋 勝宏 ・ 環境部次長 道澤 宏行 参事 楠本 直樹 ・ 主幹 白澤 耕一郎 主査 原口 達矢 ・ 係員 片岡 江梨子</p>
6 公開・非公開の別	非公開
7 非公開の理由	吹田市情報公開条例第7条第3号及び同条第4号に該当する情報を取り扱うため
8 発言等の要旨	<p>(1) プレゼンテーション 公益財団法人千里リサイクルプラザ(以下「申請者」という。)によるプレゼンテーション</p> <p>(2) 申請者に対する質疑等 委員 受講料収益について、令和2年度の予算額は2,015千円。実績額は495千円。(令和元年度の実績額は548千円。)予算額と実績額に乖離がある。今年度も2,000千円程度を予算額としているが、予算達成のための手立てはあるか。</p>

	<p>申請者 収支を考えて、事業収益をあげることが可能な受講料収益に高い予算額の設定をした。最近は新型コロナウイルス感染症の影響により、教室の参加者が少ない。今後は多くの方に参加していただけるよう、広報を市報だけでなくホームページやSNSでも行い、また、過去に参加されたことのある方にはメールでも案内している。</p> <p>委員 事業計画書2(1)施設の利用促進の方策について、質問する。現在、施設の利用申込は、「ホームページから参加申込書(PDF)をダウンロードし、手書きのうえ、FAXで提出する」という方法である。これは、色々な世代に利用を広げる妨げになっていると感じている。今後どのように改善していくか。</p> <p>申請者 現状が最善とは思っていない。中期計画の中でITの活用について触れており、取り組みを始めているところである。市のシステムでは貸室の利用状況の確認しかできないため、利用者がSNSで簡単に申し込むことができる方法への変更を検討している。</p> <p>委員 事業計画書2(1)施設の利用促進の方策(6)案内表示と展示について質問する。昨年度の第三者モニタリングにて表示や展示が雑然としているとの指摘があった。これを改善していくため、市内在住のアーティストやデザイナーの力を借りるなど、外部と連携して工夫してはどうか。また、この件について、現在、計画していることはあるか。</p> <p>申請者 館内にQRコードを貼り、来館者がそれを読み取っていくことで、一人で館内を回れるように考えている。</p> <p>内容については、市内のアーティストに協力してもらうなど、来館者の印象に残るようなものにしたい。</p> <p>委員 事業計画書2(2)事業計画の内容(1)市民・事業者向け啓発事業②に、リユース食器の発展的解消</p>
--	--

	<p>とある。リユース食器は、まだ十分に普及していない。また、他市が飲食店と連携するなど新しい展開をしている中で、リユース食器事業をやめるのはもったいない。</p> <p>リユース食器事業を引き継いでくれる民間業者は育っているのか。あるいは、民間業者を育てつつ新しい取組を考えているのか。</p> <p>申請者 イベント等で利用されているリユース食器需要は、新型コロナウイルス感染症の影響でゼロになった。他の事業者も廃業していていると感じている。</p> <p>また、洗浄だけでもさせてほしいという連絡を受けたこともあり、その対応もしていかなければならない。</p> <p>今後はマイ食器への移行も考えながら、色々と選択できるような方法を検討していく。</p> <p>委員 職員の年齢構成及び採用計画を教えてください。</p> <p>申請者 職員の平均年齢は 55.3 歳。年代別の職員数は、60代が5名、50代が1名、40代が4名である。</p> <p>採用は、欠員に対して補充するという形式を取っている。60代の職員は数年後に退職するが、今後はITに強い人材が必要であるため、後任には40代の職員を雇用したい。しかし、こちらの給与水準で一般的な生活できるかという問題もあるため、十分に検討しながら進めていきたい。</p> <p>委員 京都市に似たような施設があり、そちらは若い職員が多いので、参考にしてほしい。</p> <p>委員 名称変更の話があったが、名称は条例で定められていないのか。</p> <p>申請者 先程話したのは財団名の変更についてである。本来は施設名と財団名を同時に変更すべきであるが、先に財団名を変更し、後に市の条例も変更してもらえればと思っている。</p> <p>委員 財団名はこの5年の間に変更するつもりか。</p>
--	--

	<p>申請者 そのつもりである。</p> <p>委員 財団名の案はあるのか。</p> <p>申請者 案はない。まずは業務体制を確立してから、名は体を表すというように、それに合う名称を考えていく。</p> <p>委員 2025年の大阪万博に連動した企画はないか。</p> <p>申請者 市の担当者と話したところ、市は、府から依頼等があれば対応したいとのことであった。当財団も同じスタンスである。</p> <p>「地球との共生」が大阪万博の指針であるが、前回の大阪万博から50年近くたった今、新しい価値観の創造の場ではないかと考えている。</p> <p>委員 私は脱炭素というものは豊かな自然をもたらすのではないかと考えている。啓蒙という話があったが、それについてどのような目標を持っているか。</p> <p>私は啓蒙より人材育成の方が必要ではないかと考えている。啓蒙というと知らないことを伝えるということに留まっているような気がする。より強い目的を持って人材育成をしていく方がよいのではないか。</p> <p>申請者 定款では現在は「環境の保全」と表現されているが、「環境の保全と創造」に踏み込んでいければと考えている。</p> <p>「保全」は、現状維持や原点回帰を意味する。「創造」は、現状を上増しするという風にとられがちであるが、私が勝手に使っている言葉だと、欲望を制する「制欲」若しくは節度ある欲望「節欲」を意味すると考える。従来の生活パターンを見直し、下方修正することとも創造の一つではないか。これからの社会に対して我々としての対応をしていきたいと考えている。</p> <p>委員 学生はリユースの古着を着ることをカッコいいと言っており、価値観がかなり変わってきているよう</p>
--	--

	<p>である。</p> <p>現状では、リユースは我慢しなければならないもののようにしているので、もう少し次に向けてスタートしてもよいのかなと思う。</p> <p>また、施設は美術館を作るくらいの意識で美しいものを作っていくことが大事である。例えば旭山動物園やイギリスのエデンプロジェクトがよい例である。地元の人材を活用しながら取り組んでみてほしい。</p>
委員	SNSとしてインスタグラム、Twitterを挙げているが、LINEは検討していないのか。
申請者	<p>現在はTwitterとFacebookのみ。</p> <p>日本人の多くがインスタグラムを利用しているため、工房の様子などを掲載して見ていただきたい。</p> <p>それぞれが得意とする層を対象とし、LINEの有効活用も検討したい。</p>
委員	<p>近年、3Rの中ではリサイクルの優先順位が最も低いという説明があったが、アメリカかカナダの学者が3Rという言葉が初めに言い出したときから、ごみ減量の優先順位を決め、それが日本に入ってきたと認識している。</p> <p>近年、リサイクルの優先順位が最も低いという風に変わってきたとは、誰が言い出したのか。</p> <p>今更それを理由に財団名を変更するのはいかがなものか。</p>
申請者	誰かまでは分からないが、恐らく法体系の整理によるのではないかと考えている。
委員	2000年の循環型社会形成推進基本法において、3Rには順番があるということがうたわれている。リサイクルという言葉は、それよりも前からある。この認識からくるものだと考えられる。
委員	予算書において、委託費が年々上がっているのはなぜか。また、事業を拡大していく中で、この広告宣

	<p>伝費で足りるのか。</p> <p>申請者 委託費は、自転車工房の指導者の委託料の増加を表している。</p> <p>広告宣伝費は、毎年度の計画によっては流用して宣伝に力を入れていきたいと考えている。現在はフリーペーパー等を活用しているため、この広告宣伝費で足りているが、今後はさらに宣伝していく必要があるため、もう少し予算をつけていきたい。</p> <p>委員 委託費の中身について教えてほしい。</p> <p>申請者 事業活動費である。市民工房は、自転車工房の指導者のみシルバー人材センターに依頼しているため委託契約であるが、他の工房の指導者は給与である。</p> <p>各事業について、必要なものには進め、見直すべきものはスクラップ&ビルドをしている。事業内容については毎年度変更していった。</p> <p>委員 脱炭素の活動について、市民がイメージしやすいものはごみの減量である。「カーボンニュートラル」より「3R」という言葉の方が定着しているため、引き続き「3R」という言葉は残してほしい。</p> <p>委員 民間の助成金の獲得を頑張ってほしい。また、予算書等では退職金の引き当てがなされていないが、大丈夫か。</p> <p>申請者 特退共のみ毎月一人あたり、2千円の積み立てをしている。</p> <p>(3) 指定管理者候補者の選定 全委員の評点の平均点が60点以上であるため、公益財団法人千里リサイクルプラザを、吹田市資源リサイクルセンターの指定管理者候補者に選定</p>
9 その他	吹田市審議会等の設置及び運営に関する指針第12項の規定により、議事要旨を公表